

ゆ〜年〜る年 91年公民館活動を振り返る

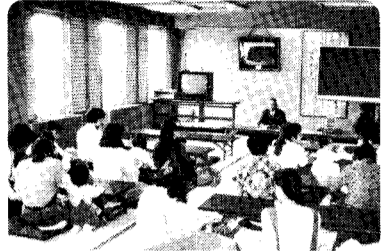
91年も残す所あと半月程になりました。この一年間、中央公民館は様々な活動に取り組んでまいりました。来年のさらなる飛躍をめざし、今年一年の活動を振り返ってみたいと思います。

家庭教育

◆つくしんぼ(参加者18名)
0才から3才までの子を持つ両親を対象に行った乳幼児家庭教育学級です。県の子育て相談員の方などをお招きし、乳児の子育てを学びました。

◆あすなろっ子広場(参加者7名)
4才から就学までの子を持つ両親を対象とした幼児家庭教育学級です。親子揃っての活動、子育てを楽しく学びました。

◆親子チャレンジ教室(参加者25組)
小学生とその両親を対象とした教室。毎月内容が変わり、キャンプや畑づくり、料理、Xmasパーティーなど様々な活動を通して団体行動、親子のふれ合いを高めていきます。



幼児家庭教育学級あすなろっ子広場

婦人の活動

◆婦人学級(参加者多数)
天ヶ沢、鎌倉、矢代田、新保、横川、小向、水田、小須戸がそれぞれ、料理や踊り、レクリエーションなど楽しく活動しています。

青年の活動

◆ヤングレディーズ教室
若い女性を対象に、身だしなみからお茶の作法まで、楽しく活動しました。

◆成人式(参加者12名)
毎年八月十五日に行っています。今年も成人達が実行委員会を作り、記念文集、パーティーを開催しました。



ふくろう講座

成人一般の活動

◆ふくろう講座(参加者60人)
町内のいろいろな人が自分の経験や知識をお話してくれる講座です。毎月お話しする人、内容が変わるバラエティな講座です。

◆いきがい講座(参加者延400人)
年配者を対象とし、有識者などからこれからの人生をどう生きるかを学びます。

◆手話教室(参加者17名)
社会福祉協議会との共催事業で、福祉ボランティアの育成を心がけています。

文化活動

◆入門教室(参加者120人)
生花教室、陶芸教室、鳥獣教室、社交ダンス教室、民謡教室



表装入門教室

◆表装教室、表装教室II期、更に今年はいよいよ公民館での教室を設け、生花教室、手づくりおやつ教室なども取り組んできました。興味をとり、興味を通しての仲間づくりにお役に立てたのではないのでしょうか。

◆第十七回町民展・文化祭(来場者110人)
今年はいよいよ町民のみならず、来場者も延べ千人以上にもなりとても喜んでいました。

◆第八回文化講演会(来場者150人)
今年はいよいよ作家の杉みき子さんをお迎えし、人生での童話との出会い、その影響のおかげで童話作家になれた事などをお話して頂きました。

◆第七回芸能祭(来場者400人)
参加団体二十四団体、延べ二百人以上のみならず、ステージで唄と踊り、器楽を演奏し、一年間の成果を披露してくれました。

◆視聴覚、図書、広報活動
◆夏休みも上映会
◆ふれあい会館移動図書



16ミリ映写機操作認定講習会

◆図書室夜間開放(毎週水曜)
◆公民館報毎月一回の発行
◆情報「こすど」年四回の発行
◆16ミリ映写機操作認定講習会

分館活動

中央公民館は町全体の活動を分館はよりみなさんと密着した活動を行っています。分館運動会、講演会、地域懇談会、映画会、ゲートボール大会、魚つり大会、史跡めぐりなど様々です。

◆今年一年間、公民館活動にご支援を賜わり本当にありがとうございました。公民館はみなさんのまわりで様々な活動を行っています。来年もぜひ活動にご参加頂き、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

リントフル収集状況



◆身体障害者に対する運賃割引制度について
身体障害者手帳の交付を受けている方に対し電車、バス等の運賃割引が実施されております。十二月一日からハイヤー、タクシーについても運賃割引制度が実施されることになりました。

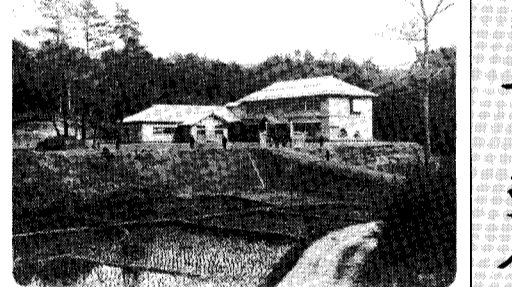
◆「利用券」は役場福祉係窓口と、タクシーの車内に備え付けてあります。

◆参加資格 小学生以上(小学生一年生は保護者同伴)
◆参加料 一人二百円(傷害保険)
◆表彰 各部門毎に三位までメダルを六位まで賞状を授与。参加者全員に参加賞、完走記録証を呈呈します。

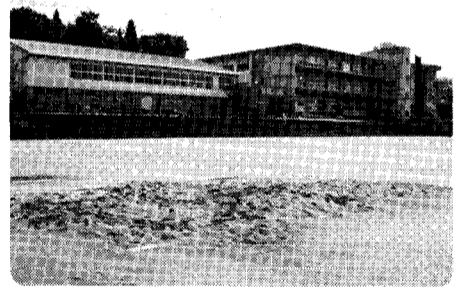
◆X'masダンスパーティー
みんなで楽しく踊りましょう
期日 十二月二十一日(土)
午後七時より
会場 中央公民館三階ホール
会費 一人五百円

◆第二十四回元旦マラソン大会
一年の計は元日にあり、親子揃って、又、お一人でもどうぞ
期日 一月一日(水)
午前九時受付
集合場所 中央公民館
種目 三kmの部・五kmの部

こすどまちまちな昔写真展(8)



(明治43年)



(現在)

矢代田小学校 (矢代田1)

矢代田小学校は明治8年、西嶋村(現新津市)の付属小学校として開校。その当時は今と別の場所(ちょっと分からない)にあり、1年生から4年生まで50人生徒がおり、先生はたった1人しかいなかった。
明治42年に現在の地に移転。しかし、昭和26年2月に火事にあい、7教室、教務室、用務員室を焼失した。同年11月に再建され、昭和55年全棟が新しく完成した。

小須戸川柳会

タノレド甘き顔で分ち合ひ
ふるさとの味覚がたぐく親子の縁
早々と宅急とどくおけき柿
半身の父は上手にリンゴ剥く
君とボク縁があつたか甘い柿
鈴成りの柿を見あげてみかん割く
柿挽きに登ればはるかな川が見え
熟し柿落ちて来そうな村の道
落林橋ジャムになつても泣いている
柿さわす暁耐に酔う下戸の顔
軒下につるした柿の枝活りに酔う
小見キ

短歌クラブ作品

日陰なる柿の蕾かたかり手折りに瓶に活けて咲かむ 吉田久次
しぐれやみ陽のさしくればもみじ葉の生命燃やすか庭の明るき 本多玲子
幾重にも灰色の雲流れゆき午後の山雲かけりを深む 大森美恵子
刈り取りし穂の残りしか白鳥の群るを見つ 村山文字
つらねの仕事進まず骨折のいたみに耐へて作業 野保玲子
葡萄が伸びたる腕の長きに描きし幼の喜びをみる 安達順子

十一月例会作品

はるかにも鬼面茶屋の鯉蕎麦
この町に生れて老いて赤とんぼ
見つめるて思ひは千々に吾亦紅
ひっそりと鯉沈ませて石路の花
良寛の句碑に秋蝶去りがたし
朴落葉擦れの音も大きかり
そろそろと嫁を見に来る木槿垣
ふれ合うてふれ合いの暮れ残り
秋桜女らしさが薄れゆく
行く秋や陽窓へ寄せて車椅子
息つめて竹運びる冬来ると
寺を出る傘にぎんなん降ってきし

俳句教室作品

枯芙蓉焚きたる灰や日の終り
しぐる、や留守番電話の吾娘の声
山車の列車にも廻り秋祭
毒草を写す女の京訛り
あれこれと木の実を干して留守居かな
近ぢかの退院きまる秋日和